http://joonji.jp

真宗大谷派
浄恩寺

浄恩寺　雅楽葬　検索

平成３１年　２月　第４１３号

浄恩寺同朋会報

電話　０５２－８８１－８４７４

「正月仏花」

約1ヶ月咲いていた仏花母親が年末に立てました。認知機能が低下し、デーサービスに週六日間通っていますが・・・長年やってきた立花は、デイ帰宅後、疲れていてもすんでやってくれます。母親の流儀を記録しておきます。今のうちに。私が立てるといつもスッキリ仕上がりません。

もうすぐ、前住職の一周忌。あっという間の一年でした。法事の準備を手配し始めました。

「お墓の準備」

お墓も新しく作ろうと、現在計画中です。私は伝統やかたちにこだわりがまったくないので、和洋折衷の墓石を建てようと考えています。

何より地震に強いからです。日本各地を襲った震災で、多くの墓石や仏壇が倒れました。壊れてしまってから、また建て直すのは大変ですから・・・

墓石に彫る文字は、

「倶会一処」

または旧漢字**「倶會一處」**

『阿弥陀経』に、「舎利弗。衆生聞者。応当発願。願生彼国。所以者何。得与如是。諸上善人。**倶会一処**。舎利弗。不可以少善根。福徳因縁。得生彼国。」

（説明）念仏の信仰に生きる人は、この世の命が終わるとただちに浄土に生れるとし、そこで墓碑に「倶会一処」と刻むことがかつては多かったようです。

それは、先に浄土に往生している先祖たちと、共に同じ浄土に生まれたいと思う心持ちを表したものであるし、また同じ浄土へ往生させていただくことを喜ぶ姿でもあります。

「畳表替え準備」

本堂建立して二十年がたちました。畳もそろそろ表替えをするリミットが迫ってきました。

本堂は常時椅子席のため、耐久性の高い畳表に変更しようと考えております。そこで、母親の部屋、二部屋で二種類の畳表を試験することにしました。

①ダイケンの和紙製畳
②セキスイの樹脂製畳

です。

最近、一般住宅和室、葬儀会館和室に多く施工されているたたみです。風合い、香り、は、「い草」には勝てませんが、「い草」に比べ耐久性、コスト面に優れています。

庫裏一階和室、本堂、本堂二階、全部すると七十畳になります。慎重に考えたいと思います

「一月、心和んだ場面」

在日韓国人家庭の一周忌法要、お供え料理の彩り。辛さ、塩分控えめの優しい味でした。

「ありがとう」で綴られた漢字、Facebook で見つけてにんまり、書いてみたくなりました。

ふくちゃん、一月二十八日が誕生日でした。

一歳になりました。